

2024年

# 地域連携年報

第十一号

滋賀短期大学  
地域連携教育  
研究センター

SHIGA JUNIOR COLLEGE  
COLLABORATIVE  
RESEARCH & COMMUNITY  
COOPERATION CENTER



# 目次

1. 地域連携教育研究センターの体制	1
2. 調査研究プロジェクト	
(1) 未来の保育者を育む	松井 典子… 2
(2) SHIGATANサーキュラーエコノミー・プロジェクト ～地域飲食業者から出るロス食材の有効利用～	江見 和明… 3
(3) 大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」の3Dデジタル化プロジェクト ……………	小山内幸治・小笠原寛夫… 4
(4) SHIGATANサーキュラーエコノミー・プロジェクト ～端材ヒノキの新たな活用法を探して～	仲村 恭子… 5
(5) 地域の環境共生型食文化の保存と継承を目的としたデジタルアーカイブ化 ……………	中平真由巳・岡田 香織・岩崎 愛理・依田 絵理… 6 ……………小笠原寛夫… 6
(6) トレハロース溶液の運動前単回摂取が糖代謝に及ぼす影響	濱田 尚美… 7
3. 地域との連携による教育研究活動	
(1) カローラフェスタ 2024	久保 晶路… 8
(2) ひらのまつり 2024	久保 晶路… 9
(3) ヘキセンハウスの制作	久保 晶路… 10
4. 地域に向けた公開講座	
(1) 守山すみれ講座	
1) からだと病気のしくみ	田中 裕之… 11
2) 音楽会を楽しもう vol.2	……………
……………	非常勤講師… 遠藤 玲子… 12
(2) 公開講座	
1) 子どもプログラミング教室	……………
……………	附属高等学校 教諭 杉本 侃哉… 13
2) お菓子の講座	……………
……………	石井 明… 14
3) スポーツ栄養教室	……………
……………	濱田 尚美… 15
4) 地図に見る大津の近代史	……………
……………	学長 秋山 元秀… 16
5. 高大連携事業	
(1) 滋賀県教育委員会の連続講座	……………
……………	17
(2) 滋賀県高等学校への出前授業	……………
……………	17
(3) 大学見学受け入れ時の講座	……………
……………	17

---

---

---

○資料

新聞などに掲載された記事（令和6年1月～12月まで）……………19

# 1. 地域連携教育研究センターの体制

## 1. 目的

地域連携教育研究センターは、本学の研究活動の向上に関わる支援とともに、地域連携に関わる教育研究の推進等を目的とする。

## 2. 実施体制

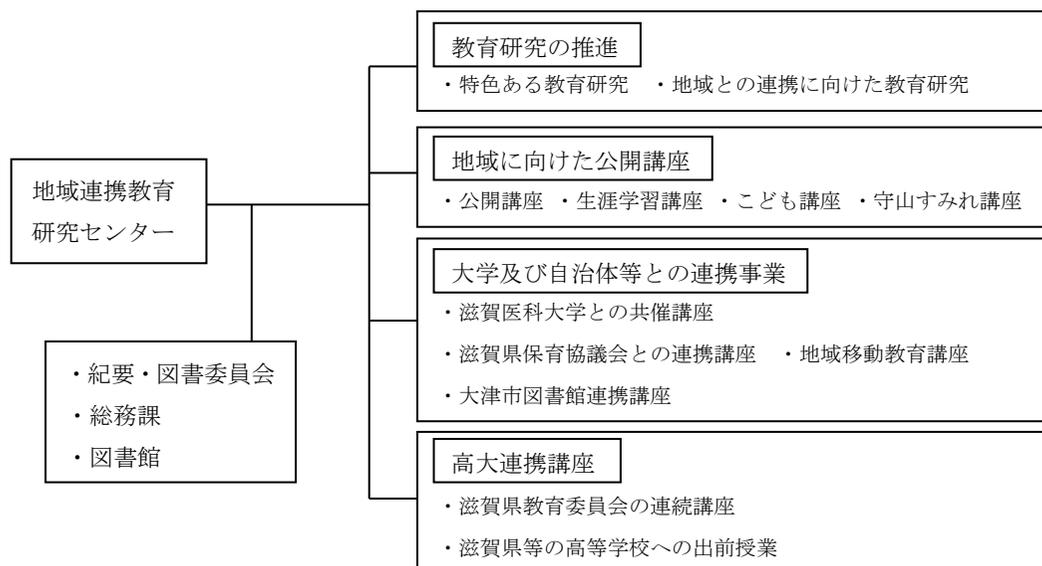
### (1) 実施組織について

地域連携教育研究センターは、上記の目的を達成するため、センター長、地域連携教育研究センター員、総務課及び図書館職員によって組織される。

地域連携教育研究センターの構成（2024年度）

氏名	所属・職名
江見 和明	ビジネスコミュニケーション学科教授・センター長
深尾 秀一	幼児教育保育学科特別教授
小笠原寛夫	ビジネスコミュニケーション学科講師
松村 都子	地域連携教育研究センター准教授
中野 英樹	事務局長
小杉ゆう子	総務課長
山本眞砂子	総務課係長 兼 地域連携教育研究センター係長

### (2) 実施体制



## 2. 調査研究プロジェクト

---

### (1) 未来の保育者を育む

#### ～高大連携プログラムにおけるピアノ実習科目の実証的検証～

幼児教育保育学科 松井 典子

#### 1. はじめに

本研究は、学校法人純美禮学園滋賀短期大学と附属高等学校が連携して実施したピアノ実習授業の実践を検証し、指導効果および学習者の学びの過程を分析することを目的とする。本学園は、保育所・幼稚園・高等学校・短期大学を併設する教育機関である。将来保育者を目指す高校生にとって、早期に保育に関わる実技に触れる経験は、学習意欲や進路選択への動機づけにおいて重要な意義をもつ。2024年度は、短期大学で開講する「音楽表現技術Ⅰ」を単位認定科目とし、授業を実施した。事前に音楽経験調査を行い、ピアノ経験の有無に応じたグループ編成を行った上で、段階的な指導を実施した。授業後には、自己点検・自己評価アンケートおよび自由記述における調査を実施し、初学者と経験者の意識や学びの違いを比較・分析した。本研究は、学習者の習熟度に応じた指導の在り方を再考する一助となるとともに、保育者養成における高等学校と短期大学の連携教育の可能性を示すものである。

#### 2. 活動内容

本授業は、グループによる学びと個別指導を組み合わせ構成した。グループ学習では、童謡の弾き歌いを中心に、コードによる伴奏付け、調性・音程などの基礎的な楽典の理解を深めるとともに、読譜方法や運指指導も行った。ペアやグループで互いの演奏を聴き合い、片手連弾の練習も取り入れながら、協働的に弾き歌いの楽しさを体感する機会を設けた。個別指導では、各自の技能に応じたきめ細やかな助言と技術指導を行い、個々の課題に応じた学びを支援した。授業最終回には発表会を実施し、実践的な経験を積むとともに、演奏後には教員や仲間と対話によるフィードバックを通して、次の学習課題を明確化した。

#### 3. 総括

自己点検・自己評価アンケートおよび自由記述の分析から、初学者と経験者では学習過程や学びの実感に違いが見られた。特に、教員との対話や協働的な活動は学びの深化を促し、初学者にとっては安心感と学習意欲の向上につながっていった。一方、経験者にとっては、表現力の洗練や応用的な技能の習得が課題として浮かび上がった。これらの結果は、習熟度に応じた柔軟な指導設計の必要性を改めて示唆するものである。今後は、本連携授業を経て短期大学へ進学した生徒の学びを継続的に追跡し、初期の学びがその後どのように展開されていくのかを明らかにしていく予定である。あわせて、高校段階から保育に関する実技を体験することは、進路を主体的に考えるきっかけとなり得る。こうした学びの積み重ねは、本学園が有する教育資源を活かしながら、地域に根ざした保育者の育成へとつながっていくことが期待される。

なお、本研究は令和6年度の学長裁量経費の助成を受けて実施されたものであり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、本稿の内容は、滋賀短期大学研究紀要第50号に投稿した。

---

---

## (2) SHIGATAN サーキュラーエコノミー・プロジェクト ー地域飲食業者から出るロス食材の有効利用ー

ビジネスコミュニケーション学科 江見 和明

### 1. はじめに

サーキュラーエコノミー（循環型経済）は、資源の再利用や廃棄物の最小化を目指す持続可能な経済システムであり、環境問題や地域課題の解決に資する重要な視点である。本プロジェクトは、地域の未利用資源を活かすことを目的に、学長裁量経費の支援を受けて実施されたものである。当初は、地域飲食業からの食品ロスを利用する構想であったが、検討を重ねる中で取組内容が変化し、最終的に商品化には至らなかった。しかし、地域事業者との意見交換や学生への啓発活動を通じて、多くの学びを得ることができた。

### 2. 活動内容

まずプロジェクトのキックオフとして、まちづくりプランナーの紀平健介氏をお招きし、特別演習の場で講演を実施した。紀平氏からは、国内外のサーキュラーエコノミー事例が紹介され、学生たちに新たな視点が提供された。

続いて、滋賀県高島市の川島酒造を訪問し、酒造りの過程で発生する酒粕の利活用について生活学科の中平教授、石井特別教授、デジタルライフビジネス学科の仲村特任講師とともにヒアリングを実施した。ユネスコ無形文化遺産に登録された酒造文化に触れつつ、発酵食品の可能性を考察した。さらに、南深清水 FF 倶楽部（高島市）を訪れ、耕作放棄地を活用して栽培されている柿やオリーブの未利用資源について実情を伺った。同倶楽部とは、今回のことをご縁に令和7年度開講の地域貢献演習Ⅱにおいて連携することを検討している。これらのヒアリングは、今後の商品化や地域連携の足がかりとなるものであった。

また現在、株式会社叶匠壽庵が運営する「寿長生の郷」において梅の木の剪定で出される枝の再利用についても関心を持ち、今後の展開を視野に入れた検討を進めている。

### 3. 総括

結果として、今年度は商品の具体化にまでは至らなかったものの、講演や現地ヒアリングを通じて、学生が地域資源の価値や活用可能性に触れる機会を創出できたことは大きな成果であると考えている。未利用資源を再解釈し、新たな価値を生み出すプロセスは、ビジネスを学ぶ学生にとって貴重な学びとなった。今後は、今回得られた知見とネットワークを活かし、産学連携による商品開発や実証実験へと展開していきたい。

### (3) 大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」の3D デジタル化プロジェクト

デジタルライフビジネス学科 小山内幸治 小笠原寛夫

#### 1. はじめに

大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」は、三味線と謡いに合わせて踊るもので、大津花街で江戸後期発生し、幕末から明治にかけて全国的に流行した「大津絵節」に、踊りを付けたものである。かつては、大津の名物であった。「大津絵踊り」は、10種の「面」と、5種の「小道具」を用いて行われるのが特徴である。この「大津絵踊り」を保存するために、昭和63年から、保存会が立ち上げられ保存に取り組んでいるが、後継者が十分には育っておらず、未来に向けての保存が課題となっている。本プロジェクトは、踊りをモーションキャプチャーし、デジタル化により3D空間に踊りを再現することで、デジタルによる「大津絵踊り」の恒久的な保存に取り組むことを目的としている。

プロジェクトには、デジタルライフビジネス学科の学生が積極的に参加している。また、この活動は、本学学長裁量経費および環びわ・大学地域連携課題解決支援事業の助成を受けている。

#### 2. 活動内容

本活動は、昨年度と今年度の2か年計画で行われている。内容は①踊りの3D空間でのモーションキャプチャーデータ収集。②人物の3Dモデルを作成③Unity空間に、上記3Dモデルで動作を再現④大津絵踊りで使う「面」の3Dモデルを作成⑤3Dモデルにテクスチャーと面の貼り付け⑥動作確認、修正⑦インターネット上で公開、広報である。しかし、①の3D空間でのモーションキャプチャーデータに欠損が生じることが明らかになったため、新たなキャプチャーシステムを導入しデータを取り直した。このデータをもとに踊りを再現した。大津絵踊り保存会の方々からは、背後からみた動作を確認できることや、3Dモデルの着物を着衣していないデータが関節の曲がり具合をわかりやすく示している点が評価された。踊りの継承のための教育用に活用可能と思われる。また、踊りで使われる面も3Dデータ化し、それをもとに3Dプリンタで無彩色のお面を作成した。

#### 3. 総括

大津絵踊りのモーションキャプチャーデータを取得することができた。また、このデータをもとに、空間上に「大津絵踊り」を再現した。また、「面」については、3Dデータをもとに3Dプリンタで無彩色ではあるが、実物大の実際に踊りで使用できる面を作成することができた。公開には、まだ調整が必要であるが、調整終了後インターネット上に公開し、広報も行う予定である。



写真1 モーションキャプチャーとその再現

写真2 3Dデータで再現された面

## (4) SHIGATAN サーキュラーエコノミープロジェクト ～端材ヒノキの新たな活用方法を探して～

デジタルライフビジネス学科 仲村 恭子

### 1. はじめに

滋賀県産ヒノキを使用した木工商品の製造と販売を行う福祉作業所であるれもん会社では、廃棄物として排出されるこの端材の処分に悩まされてきた。また知的障害者の方が1日作業して得られる賃金は低く、その処遇も社会課題となっている。そこでヒノキの端材を活用した商品を企画・PR・販売することで、廃棄される資源を無駄なく活用するだけでなく、新たな雇用の機会を生み出すこと、滋賀県ならではのストーリーのある商品を開発し、地域の魅力を発信することを目的にはじめたこの活動を、学生ならではの柔軟な発想で社会に貢献する「SHIGATA サーキュラーエコノミープロジェクト」と名付けた。

### 2. 活動内容

ゼミの学生たちを中心にブレインストーミングや企画会議を重ね、試作を繰り返してきた結果、木片を樹脂で固めて作ったデザインテーブル、繰り返し使える端材アート、アイドル衣装の展開など学生らしく固定概念にとらわれない斬新なアイデアでさまざまな作品づくりができた。2024年12月に開催されたれもん会社のイベントにて、ヒノキの端材を使ったワークショップと、先述の試作品の展示を行い、アンケートによる評価を実施した。作業所の所長をはじめ多くの参加者から好評を得ることができた。また、アンケート調査からヒントを得て今後はヒノキの廃材に限らずその他、廃棄される様々な素材を使ったものづくりを提案するアウトドアブランドを立ち上げる。現在、テーブルなどのキャンプ用家具、枕、着火剤、空間演出アイテムなどの商品開発を進めている。



写真1 学生による企画会議の様子



写真2 試作品の展示の様子



写真3 ワークショップの様子

### 3. 総括

今回のヒノキ材の活用に限らず、酒蔵の酒粕、果樹生産で剪定される柿や梅の枝や種など、活用されず廃棄される資源が滋賀県には豊富にある。本学のこの活動が廃棄物に悩まれている多くの中小企業にとってロールモデルとなることを期待している。

## (5) 地域の環境共生型食文化の保存と継承を目的とした デジタルアーカイブ化

生活学科 中平真由巳 岡田 香織 岩崎 愛理 依田 絵理  
デジタルライフビジネス学科 小笠原寛夫

### 1. はじめに

生活学科では滋賀県の地域色豊かな暮らしや食の中にある文化的価値を伝える食育に力を入れ、滋賀県で受け継がれてきた食の知恵や技を、講義や実習、一般向けの講座、食文化の調査、教科書出版等により継承してきた。しかし、対面や文章を通じた継承法により伝承可能な人数は限られ、十分な効果は得られていない。伝統食は時代に応じて変化しながら人から人へ丁寧に伝えられてきたものであるが、現代は人の手を通して伝えることが難しくなっている。食文化とその価値を時代が求める形に再構築しながらデジタル化して発信すれば、さらに多くの人々に伝え残すことが可能になると考え、デジタルアーカイブ化に取り組んだ。その一部を報告する。

### 2. 活動内容

このプロジェクトは「滋賀県の魅力ある食文化と暮らし」の保存と継承を目的とし、①滋賀県の食文化や暮らしに関する文献や資料、レシピやビデオ等をデジタル化して保存する。②自然に寄り添う暮らしや滋賀の魅力的な食文化を、動画や視覚的に訴える教材を制作して発信する。この二つを柱として並行して進めた。今回は②を中心に取り組み、SNS が身近にある全ての人々をターゲットとし、現代の暮らしと共にある ICT をツールとして食育や地域の食文化の継承に取り組んだ。

生活学科、デジタルライフビジネス学科の教員と助手を構成員とし、滋賀県の暮らしや食文化、伝統食の作り方のデジタル化を進めた。今回は「ふなずし」「塩漬けなすと塩漬けなすの煮物」「みそ作り」「打ち豆と打ち豆汁」「あめのいおご飯」「でっちゃんかん」「こあゆの佃煮」の7作品の制作に取り組み、動画を取り終えて編集段階である。動画制作には、地域の方の台所をお借りして食材が育まれた風土や暮らしの様子も組み込んだ。

### 3. 総括

滋賀の魅力的な食文化を伝える動画や情報を、経過途中ではあるが作成できる見通し立ってきた。完成した暁には、YouTube やInstagramを通してこれらの発信を行っていく。「日野菜漬け」は季節性もあり今回は見送ることとなったが、滋賀の5つの食文化材が揃う動画教材があれば理想的である。引き続きこのプロジェクトの継続を計画している。



## (6) トレハロース溶液の運動前単回摂取が糖代謝に及ぼす影響

生活学科 濱田 尚美

### 1. はじめに

トレハロースはグルコース 2 分子が結合した非還元性の二糖類である。自然界に存在し、きのこ類、海藻、酵母などに含まれている。食品からトレハロースを抽出することが難しく、高価なため希少糖と呼ばれていた。しかし、微生物や酵素技術を使ったでんぷんからの製造方法が開発され、大量生産が可能となったことから利用範囲が広がり、現在では多くの加工食品に使用されている。

生体への影響では、グルコースと比較して摂取後の血糖値の上昇が緩やかかつインスリン低分泌という特性があり、長時間運動中の糖質利用を抑制し、終盤まで生体内糖質の温存が可能である。

本研究は、運動前にトレハロースとグルコースの 2 溶液を摂取した場合の血糖値上昇の違いが、AT（無酸素性作業閾値）の出現と、定常負荷運動中の糖代謝に及ぼす影響について明らかにすることを目的として実験を行った。

### 2. 活動内容

#### 【実験方法】

対象者は男女大学生 17 名。実験当日は朝食欠食とし、5 分間の安静時代謝を呼気ガス分析により測定後、試行飲料 500ml を摂取し 15 分間安静状態を保持した。自転車エルゴメーターを用いて、次の 2 つの実験を行った。

〔実験 1〕 20watt/min の Ramp 負荷で AT 測定を実施

〔実験 2〕 AT レベル 45% $\dot{V}O_{2peak}$  の運動強度で定常負荷運動を 30 分間実施

両実験共に飲料は 6%トレハロース溶液 (T)、6%グルコース溶液 (G)、対照を水(W)とした 3 試行とし、安静時、飲料摂取 15 分後、運動終了 4 分後の 3 点で、血糖値、乳酸値を測定した。

#### 【結果】

〔実験 1〕 3 試行間の AT 出現時の watt 数は T が G と比較して有意に高値を示した ( $p < 0.01$ )。

〔実験 2〕 摂取 15 分後に G の血糖値は急激に上昇し、運動後は安静時より低値となった。安静時と運動前の血糖値の変化量の比較では、T は G と比較して有意に低値を示した ( $p < 0.001$ )。また、糖質酸化量は、G が W と比較して有意に高値を示した ( $p < 0.05$ )。

### 3. 総括（結果及び考察）

G は血糖値の急上昇により解糖系での糖代謝が亢進し、AT 出現が早まった。また、T は G と比較して、AT レベル以下での運動中の糖質摂取による糖代謝の亢進を抑制させることが明らかとなった。

よって、T 溶液摂取時は G 溶液摂取時と比較して糖代謝に強い影響を及ぼさず、糖質を必要量のみ利用することから、長時間運動でのパフォーマンスの維持に有効であることが示唆された。

以上の研究について、今後論文投稿に向け執筆を行う予定である。



## 3. 地域との連携による教育研究活動

### (1) カローラフェスタ 2024

生活学科 久保 晶路

#### 1. はじめに

10月5～6日の2日間、野洲の希望ヶ丘文化公園にて行われた「カローラフェスタ 2024」。今回で9回目となるイベントは、昔懐かしいレトロな車から普通車・キャンピングカー・パトカー等の展示や体験イベントがあり、今年は2日間で約14,000人が来場した大型イベント。その中で約50店舗が集うマルシェに初めて参加させて頂き、ベーカーリー塾は6日(日)のみ学外販売を行った。

#### 2. 活動内容

今回のイベントでは人気の「スノーボールクッキー」をはじめ、「ガレットブルトヌ」や「かぼちゃのマドレーヌ」などクッキーと焼き菓子あわせて8種を販売した。

後期授業が始まってすぐの日程だったため、販売するお菓子は夏休み中に、学生たちが作りたいもの・販売したいものの意見を出し合い、準備をした。

初めて参加するイベントだったが、学生たち自身が楽しみ、自らイベントマイクで宣伝したり、積極的に声をかけ販売していた。

#### 3. 総括

イベントやマルシェがコロナ前のように色々な場所や規模で開催されるようになり、このような大型イベントに出店させて頂いたことを嬉しく思う。普段出店しない場所だったため、滋賀短期大学やベーカーリー塾をたくさんの方に知っていただけたいい機会になったと思う。

今後も様々な活動に積極的に取り組んでいきたい。



## (2) ひらのまつり 2024

生活学科 久保 晶路

### 1. はじめに

10月27日、大津市立平野小学校にて、平野学区まちづくり協議会主催の「ひらのまつり 2024」が開催された。今年からより地域の方々に来ていただけるように少し規模を縮小して平野小学校で1日だけの開催となった。出店者は平野学区を中心とした周辺の飲食店や企業、学校などが参加している。今年で3度目の参加となった。

### 2. 活動内容

季節の食材を使った「さつまいもとりんごのフォカッチャ」や、「ベーグル」、「チャンククッキー」など、焼き菓子・パンを含む計9種類を販売した。

今年から少し規模が小さくなったため、製造数を少し減らしての販売だったが、小学校での開催ということもあり、たくさんの子供達や親御さんが来場して下さり、大好評に終わった。

### 3. 総括

今回のイベントでは、毎年作成していた「スノーボールクッキー」の販売をしなかったため、残念がるお客様もおられた。このようなお言葉を有難く受け止め、毎年楽しみにして下さっている方々に喜んでいただけるよう、販売する商品も工夫することが重要だと感じた。

地域密着のイベントだからこそ挑戦できること、大事にしなければいけないことも直に感じるため、学生たちにもこの経験がよい刺激になっていると思う。

日頃からお世話になっている地域のイベントに、今年もお声がけ頂けたことを嬉しく思うと同時に、今後も地域の方々のためにたくさんの活動をしていきたい。



### (3) ヘキセンハウスの制作

生活学科 久保 晶路

#### 1. はじめに

びわ湖大津プリンスホテルより依頼して下さっているヘキセンハウスの制作も、平成 25 年から始まり今年度で 12 年目を迎えた。今年度も石井明教授の指導の下、ベーカリー塾の学生達全員で作成した。

#### 2. 活動内容

今年は「動物たちのスポーツ大会」をテーマに製作したヘキセンハウスは、12 月初旬からクリスマスまでの約 1 か月間ホテルのロビーに展示された。

小麦粉、砂糖、卵、バター、スパイス類を使用した生地を用いてヘキセンハウスを組み立てた。お城のような複雑な屋根の形をした家を中心に作成。色鮮やかなアイシングで家などを装飾し学生たちが全てデザインした。テーマに沿って様々なスポーツをする動物達をイメージしながらマジパンも制作し、完成させるまでに約 1 か月かかった。今年度も 12 月 26 日以降はお正月仕様に装飾を変え、1 月以降も展示された。



#### 3. 総括

ベーカリー塾の 1 年の集大成であるヘキセンハウスの制作活動は、今年で 12 年目となった。サークルに参加してくれる学生たちも増え、熱心楽しんで制作に取り組んでいた。みんなと協力して大きな作品を作り上げた達成感は、今後の成長・自信に繋がると思う。2025 年は滋賀国体が開催されるため、テーマを「動物たちのスポーツ大会」とした。今回の動物島のように国体も県内の様々な場所で活気強く開催されるであろう。

毎年学生たちに大変貴重な機会を、与えて下さっているびわ湖大津プリンスホテルの方々にかから感謝するとともに、今後も歴史ある活動が続けられることを願う。



## 4. 地域に向けた公開講座

---

### (1) 守山すみれ講座

#### 1) からだと病気のしくみ

ビジネスコミュニケーション学科 田中 裕之

#### 1. はじめに

2024年9月15日(10:00-12:00)、すみれ保育園(滋賀県守山市)において「からだと病気のしくみ」という題目で講演した。本講座では、収束を迎えたものの、いまだ記憶に新しいコロナウイルスの話題を交えながら、人類と感染症の歴史について解説した。

#### 2. 講演内容

##### (1) ウイルスとは何者か？

ウイルスは、人間の細胞よりずっと小さく、肉眼では見えない。まず、ウイルスの大きさや物質的な特徴を解説した。ウイルスは、DNAもしくはRNAがタンパク質や脂質の殻の中に入ったもので、単なる物質的な粒子ともいえる。また、ウイルスが細胞に付着・侵入したあと、複製して増殖するメカニズムについて説明した。さらに、ウイルスで汚染されやすい公共の場所や物について、クイズ形式で一緒に考えていただいた。

##### (2) ヒトの免疫について

ウイルスに感染し、発症するまでを概説した。一般的に、私たちヒトの細胞にはウイルスが感染しやすいよう、あらかじめ受容体(レセプター)が用意されている。ウイルスが細胞に付着・侵入したあと、複製して増殖する過程とそのメカニズムについて説明した。また、これほどまでに速いサイクルで変異株が出現するしくみを概説した。

##### (3) 感染症の検査について

医療機関が実施するPCR検査、抗原検査や抗体検査について、それらの目的や違いについて説明した。また、新型コロナに対する感染制御の切り札として登場した、メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンについて、その開発経緯も含めて解説した。

#### 3. まとめ

この度のパンデミックは、グローバル化が進み、人間が互いに往き来し、接触するサイクルが増した帰結ともいわれる。WHOによれば、世界規模の人口増と高齢化、都市の過密化がさらに加速すると予想されている。したがって、社会や歴史を動かすような感染症と人類の戦いも、ますます激しくなるという見方もある。本講座では、世界の広い地域を長い時間軸で俯瞰しながら、人類と感染症の歴史を概説した。歴史は繰り返す。少しでも関心をお持ちいただけたら幸いである。

---

---

## (1) 守山すみれ講座

### 2) 音楽会を楽しもう vol.2 ～みんなの思い出の歌～

幼児教育保育学科 柚木たまみ  
非常勤講師 遠藤 玲子

#### はじめに

本講座は、昨年度に引き続き、広い世代の一般市民を対象に「子どもから大人まで一緒に楽しむことのできる音楽会」として実施した。前回の講座では個にスポットを当てるためにリクエスト曲を募りプログラムを作成したが、今回は、事前告知で「歌は時代を映す鏡です。昭和、平成、令和のあの時の歌。何が飛び出すかは、お楽しみ！きっとおなじみのあの歌が登場しますよ。タイムスリップして、いろんなことを思い出して、さらに明日のエネルギーにしましょう。」と唱え、音楽の特性を利用した回想的手法により、参加者が思い出を振り返ることにより、脳の活性化、今の自分への肯定と生活の活性化、加えてあらたな世代間交流の発生と促進を目的としてプログラムを構成した。

#### プログラム内容について

全 11 曲は、パワーポイントによる写真や歌詞を曲目の時代背景に合わせて提示し、それぞれの説明、回想をしながら進行した。また、単に聴取型にならないよう、歌唱活動とともに、イントロ当てクイズ、参加者による楽器演奏、身体表現等、参加型要素を数多く組み込んだ。次に曲目を示す。

1「カチューシャの唄」（大正 3 年）、2「二人は若い」（昭和 10 年）、3「とんがり帽子」（昭和 22 年）、4「東京のバスガール」（昭和 32 年）、5「高校三年生」（昭和 38 年）、6「黒猫のタンゴ」（昭和 45 年）、7「UFO」（昭和 52 年）、8「赤いスイートピー」（昭和 57 年）、9「愛は勝つ」（平成 2 年）、10「世界に一つだけの花」（平成 14 年）、11「時代」（アンコール）（昭和 50 年）

2 ではセリフの掛け合い、3,6 では部分的に楽器演奏導入、7 では振付再現、8 では流行した髪型経験者挙手、3,5,7,8,9 のイントロ当てクイズ等を、活動内容に導入した。

#### 総括

参加者アンケートでは、「とてもよかった」（85%）「まあまあよかった」（15%）という回答を得ることができた。自由記述欄では、「贅沢な時間を過ごすことができた」「生歌で時代が感じられてよかった」「いつも聞く方だったが参加できたのがよかった」「年代ごとの歌を懐かしいことを思い出しながら参加できた」「楽器が楽しかった」「癒された」「心が洗われた」「自分の歩んできた人生を顧みることができ素敵な時間だった」という回答をいただいたことから、回想法的アプローチによる目的を達成できたのではないかと捉える。参加者は 30 代から 70 代と幅広い年齢層であったが、時代を網羅する曲目構成により、どの世代にも対応可能なプログラムだったのではないかと推測する。

最後に、計画・実施において滋賀短期大学附属すみれ保育園に多大なご協力をいただいたことに、心から謝意を表す。

---

---

## (2) 公開講座

### 1) 子どもプログラミング教室

滋賀短期大学附属高等学校 教諭 杉本 侃哉

#### 1. はじめに

2020年度、小学校におけるプログラミング教育の必修化に始まり、2022年度には高等学校においてもプログラミング教育が必修化となった。そして、2024年度に実施された大学入学共通テストには、科目として情報が追加され、初めての試験が行われた。情報化やグローバル化により社会が大きく変化していく中で、人工知能 AI などの技術革新に伴い、セルフレジなど様々な場面で自動化が導入されつつある。今後も、社会がこのような変化をしていく中で、人工知能 AI を扱う側として、プログラミング的思考を育成し、コンピュータを課題解決に活用する力を身につけていかなければいけない。そうでなければ、人工知能 AI を扱う側ではなく、人工知能 AI に扱われる日が来ってしまうかもしれない。プログラミング的思考というのは、プログラミング言語を覚えてプログラマーを育てることだけではない。ここでいうプログラミング的思考というのは、自他の人生や生活を豊かなものにするために、地域課題や身近な生活上の課題を自分なりに論理的・創造的に考え解決していく力である。

#### 2. 活動内容

今回の活動内容は、決められたコースをゴールまで進むように、車を走らせるプログラミングを組んでもらうものであった。これは、上記で述べた「プログラミング的思考」を身につけるための導入部分であると考えている。プログラミング的思考が身につけていなければ、コンピュータがどれだけ便利であったとしても、コンピュータに自分の意志を伝えることができないため、効率的な課題解決にはならない。そのため、本講座ではプログラミングを楽しみとすることができるように、パズル感覚でプログラミングを楽しむことができる教材を選択した。プログラミングは答えが1つではなく何通りもの書き方が存在する。最短距離での回答が望ましいが、最短距離での回答のみが答えではない。周りの人と違って大丈夫、という意識を持ってもらうことが大切である。今年度も前年度と同様に、個性的なプログラミングを書いてくれる子どもも多かった。左折から直進をする場所では、頭を左に向けるのではなく、あえておしりを左に向けてバックで走行させるなど、車は前に進むものであるという固定概念にとらわれることなく、遊び心を加えたプログラミングは、私も次の動きを予想しながらワクワクするものであった。

#### 3. 総括

私自身が小学生のときには、プログラミングという言葉すら聞いたことがなかったが、今の小学生は、明らかにプログラミングというものを身近に感じているのと同時に、物事のとらえ方がとても柔軟になっているのではないかと感じた。プログラミングの授業が必修化されたことに伴い、今後もプログラミングに対する意識や技術向上だけでなく、プログラミング的思考の育成に期待したい。そして、高校での学びがより一層それを高度なものにしていくことができるよう、教育を作っていく必要があると感じた。

---

---

## (2) 公開講座

### 2) お菓子の講座 ～フランスのお菓子～

生活学科 石井 明

#### 1. はじめに

令和6年8月27日(火)と8月29日(木)に一般の方対象で「フランスのお菓子」を、両日同じ内容で開催した。初めて参加された方にもグループで作業しコミュニケーションをとってもらいながら参加者の皆様に楽しんでもらえるように行った。

#### 2. 活動内容

フランスの菓子であるガレット・ブルトンヌ、フィナンシェ、パン・ド・ジェーヌを作ってもらった。ガレット・ブルトンヌはブルターニュ地方の伝統菓子でバターをたっぷり使用し、塩味の効いた厚焼きクッキーで崩れるような食感が特徴のお菓子となるように行った。フィナンシェは味の要となる焦がしバターの作り方を覚えてもらえるように行った。パン・ド・ジェーヌはマジパン・ローマッセを使用し、本格的なお菓子となるように行った。

グループで作り、絞る作業は交代し、全員が作業に携わり達成感を味わってもらえるようにした。



#### 3. 統括

ほぼ満席となり、中には遠方から参加された方があった。フランス菓子で家でも作ってもらえるようなお菓子にし、作ってプレゼントされた方に喜んでいただけるようなお菓子になるようにして行った。参加された方には、喜んでくれたので開催して良かった。今後もお菓子の講座を通して各国の伝統菓子を伝えていきたい。



---

---

## (2) 公開講座

### 3) スポーツ栄養教室

～健康づくりのための食生活と運動（「食事」と「栄養」のポイント）～

生活学科 濱田 尚美

#### 1. はじめに

健康維持や生活習慣病予防、リフレッシュ、競技スポーツなど、多くの人が運動の必要性を感じ、関心を持っている。一方、身体活動・運動分野の指標である「日常生活における歩数」、「運動習慣者の割合」は横ばいから減少傾向である。厚生労働省は運動を実施するための啓発として、平成元年の「健康づくりのための運動所要量」を始まりとして、最新では「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」を策定した。このガイドは、社会環境の変化に鑑み、可能なことから取り組むことを推奨しており、身体活動とエネルギー・栄養素についての項目もある。これは運動・スポーツを行うためには「体づくり」が不可欠であり、毎日の食事が大きく影響することを意味している。

#### 2. 活動内容

本講座ではスポーツ栄養学の基礎知識を知って食生活を見直し、運動・スポーツを楽しみながら、日々の練習や努力が成果につながるように、「食事」と「栄養」のポイントについて講義を行った。

受講者は幅広い年代の男女 10 名で、運動に関心はあるが日常的に運動習慣のある人は少なかった。運動を行うための「体づくり」に必要なエネルギーと栄養素を確保するために、「バランスのよい食事」を心がけることを伝え、バランスよい食事とはどういうことか、バランスよく食べなくてはならない理由、食材の選び方などについて説明した。計算や数字にとらわれることなく、現在の食生活を見直し、自身で「バランスのよい食事」を考え実践することができるように、「まごにわやさしい（豆、ごま、肉・卵、わかめ（海藻）、野菜、魚、しいたけ（きのこ）、いも）」についても紹介した。

スポーツをする人の食事のポイントとして、一日 3 食食べる習慣を身につける、主食で糖質をしっかり摂る、たんぱく質は毎食摂取する、野菜・果物は毎日摂取する、骨を丈夫にする、貧血予防、捕食の活用、適切な水分補給について解説した。

#### 3. 総括

運動・スポーツを行うためには、「バランスのよい食事」が重要である。自身の食生活を振り返り、食品や栄養素の過不足や偏りに気づく必要があることを知ってもらえるような内容の講座にした。終了後には、体育会系の部活動をする中学生の保護者からの減量に関する質問や、サプリメントに関する疑問などを受け、興味・関心を持って受講してくれたことに安堵した。これを機会に、「食事」と「運動・スポーツ」を楽しみながら、健康の維持・増進に努めてもらえれば幸いである。



---

---

## (2) 公開講座

### 4) 地図に見る大津の近代史 ～鉄道の開設を中心に～

学長 秋山 元秀

#### 1. はじめに

大津は江戸時代以来、東海道・中山道 の宿場町であり、琵琶湖水運の重要な港町でもあった。いわば近江の水陸交通の要衝であった。そのために大津百町といわれる町場が発達していた。明治初期の大津の町は、江戸時代の町場とほぼ変わりはない。江戸時代の中頃の町場を示した絵図と明治7年ころの大津町全図を比べると、街道及び主要な街路、それによって形成される町場はほとんど同じである。これが明治中期、大正期と時代が進むにつれ少しずつ町場が広がっていく。従来の市街地の外側に、たとえば県庁であるとか、裁判所、学校などが建設されていく。そしてそのような都市の近代化を進める大きな要素が鉄道の建設である。

#### 2. 官鉄の建設

交通における新しい時代の到来は官営鉄道の整備とともに訪れる。明治5年(1872)、日本最初の鉄道が新橋～横浜に開通したが、一方、関西では、同7年(1874)大阪～神戸、同10年(1877)大阪～京都が開通、さらに明治13年(1880)京都～大津が開通した。

京都～大津間は明治12年には仮営業で、当初は伏見丘陵を迂回し、稲荷、山科、大谷の3駅が置かれた。逢坂山トンネルは明治13年に開通したが、現在とは異なるルートで掘削した。現在のように入山トンネルと新逢坂山トンネルが開通したのは大正10年になってからで、その時に、現在の山科駅が設けられた。これにあわせて大津駅も現在の位置になった。

既に湖上水運が発達していた琵琶湖周辺では水運を利用して大津駅からは連絡船で長浜へ向かうことにした。その後、建設が進んで明治22年7月に神戸～東京間が全通する。湖東の路線部分は最も建設が遅れ、この時点で現在の鉄道網の形が完成する。同時に長浜～大津の連絡船も廃止、長浜を起点とする鉄道網は米原を中継点として展開するようになる。

#### 3. 私鉄の整備

大正元年(1912) 京都古川町～大津札の辻間に京津電気軌道が設置された。大正2年(1913)には馬場～大津間の軌道を利用して大津電気軌道が設置され、ついで大正12年(1923)ころから京阪電気鉄道と京津電気軌道の合併がはかられ、古川町から三条川端までと、札の辻から浜大津までを延長し、浜大津から馬場までの官営鉄道の軌道は大津電気軌道となっていた電鉄と連絡した。

一方、湖西の鉄道としては昭和2年(1927)に、大津電気軌道によって浜大津から坂本までの路線が敷設され、それまで石山・蛭谷(現在の石山寺)まで延長されていた路線と結んで琵琶湖鉄道汽船と改名した会社の石山坂本線が開通した(後に京阪電鉄に合併)。

これとは別に大正10年(1921)、三井寺と叡山(坂本から叡山の登山口に至る駅)間に江若鉄道が地元滋賀県の資本によって開業した。ついで昭和6年(1931)、浜大津～今津間が開通して、湖西を縦貫する鉄道交通となった

## 5. 高大連携事業

---

---

### (1) 滋賀県教育委員会の連続講座（2024年8月）

- 1) 2024年8月1日 滋賀短期大学  
食を通して世界を学ぶ～乳～ 中平真由巳（滋賀短期大学教授）
- 2) 2024年8月1日 滋賀短期大学  
幼児と造形表現 深尾秀一（滋賀短期大学特別教授）
- 3) 2024年8月1日 滋賀短期大学  
からだど病気のしくみ 田中裕之（滋賀短期大学教授）
- 4) 2024年8月1日 滋賀短期大学  
高校生のための金融リテラシー 小山内幸治（滋賀短期大学特別教授）
- 5) 2024年8月1日 滋賀短期大学  
プロジェクトマップの仕組み 小笠原寛夫（滋賀短期大学講師）

### (2) 滋賀県等の高等学校への出前授業（2024年1月～2024年12月）

- 1) 2024年9月4日 八幡工業高校  
プロジェクトマップの仕組み 小笠原寛夫（滋賀短期大学講師）
- 2) 2024年10月18日 八幡工業高校  
プロジェクトマップの仕組み 小笠原寛夫（滋賀短期大学講師）
- 3) 2024年10月22日 大津高校  
子どもの成長と音楽 柚木たまみ（滋賀短期大学教授）
- 4) 2024年10月24日 大津高校  
子どもの音遊び 松井典子（滋賀短期大学准教授）
- 5) 2024年11月7日 大津高校  
子どもの音遊び 松井典子（滋賀短期大学准教授）

### (3) 大学見学受け入れ時の講座（2024年1月～2024年12月）

- 1) 2024年2月9日 長浜農業高校  
アレルギー対応食を作ってみよう 豊岡真莉（滋賀短期大学特任助教）

- 
- 
- 2) 2024年2月9日 長浜農業高校  
クッキーを作ってみよう 石井 明 (滋賀短期大学教授)
  - 3) 2024年5月10日 彦根工業高校  
プロジェクトマッピング 小笠原寛夫 (滋賀短期大学講師)
  - 4) 2024年9月25日 彦根総合高校  
食べ物と健康 清水まゆみ (滋賀短期大学特別教授)
  - 5) 2024年12月10日 北大津高校  
遊びの中の学び 久米央也 (滋賀短期大学教授)
  - 6) 2024年12月12日 安曇川中学校  
フィナンシェをつくってみよう 石井 明 (滋賀短期大学特別教授)
  - 7) 2024年12月13日 栗東高校  
楽しく学べるホームページ作成!! 小笠原寛夫 (滋賀短期大学講師)

2024年(令和6年)2月20日(火) 朝日新聞(滋賀版)



打ち豆汁



21

打ち豆は水を含ませた大豆を蒸し、木づちで打って薄い花形にしたものです。かつてはこの家でも田んぼの畦に大豆を植え、保存した大豆を必要な時に味噌や煮豆、納豆、きな粉などに使いました。

# 大豆の旨みと甘み広がる

大豆はたんぱく質の多い優れた食品ですが、組織が硬くて煮えにくいために、昔からよく加工して用いました。平たくつぶす打ち豆は丸大豆より早く

煮え、加熱に必要なエネルギー資源も節約できて環境に優しく、さらに、豆からの旨みが溶け出して汁までおいしくなるという沢山の知恵が詰まった加工方法です。

打ち豆汁は湖北、湖東地域で伝えられ、打ち豆と里芋、大根、豆腐、油揚げな

どの入った味噌汁です。浄土真宗のお寺でも報恩講のお講汁に打ち豆汁が振る舞われます。家でこれた野菜に大豆の旨みや甘みがしみ込んだ具だくさんのお汁は、ほこりと滋味豊かな、かつての暮らしに招かれたような心も体も温まる家庭の味わいです。大豆をまな板の上で1粒ずつ打つのはなかなか根気がいる作業ですが、木づちの音も弾む楽しい時間です。以前は子どもやお年寄りの仕事で、子どもたちは打ち豆作りを終えないと遊びに行かせてもらえなかったと聞きます。作った打ち豆を乾燥させると、いつでも使える保存食になり短時間で戻せるため非常食にも便利です。

## 材料と作り方

### 【材料】(4人分)

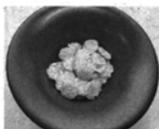
乾燥大豆40g、里芋50g、カブ50g、油揚げ20g、干しズイキ4g、木綿豆腐100g(1/2丁)、万能ネギ4g、煮干しだし800ml、煮干し20g、味噌60g

### 【作り方】

#### ①打ち豆を作る。

(方法1)大豆を洗って15分間水に浸ける。大豆を蒸し器で20分間蒸し、木づちで叩いて花形につぶす。

(方法2)大豆を熱湯に入れて火を止めて3分待つ。水分を切りポリ袋に入れて一晩おく。木づちで叩いて花形につぶす=写真。



②里芋とカブは皮をむいて薄切り、油揚げは熱湯をかけて細切りにする。

③干しズイキは水に浸けてあく抜きと吸水をさせた後、絞って3cmの長さ切る。豆腐は角切りにし、ネギは小口切りにする。

④だし汁を火にかけて沸騰したら、①の打ち豆とみその半量を入れてやわらかくなるまで煮る。※打ち豆は沸騰しただし汁に入れないと大豆が丸く戻ることがあるので注意する。

⑤里芋、カブ、油揚げ、ズイキを加えてさらに煮る。

⑥里芋とカブが軟らかくなったら豆腐と残りの味噌を入れ、一煮立ちしたら火を止めてネギを散らす。

◇ 滋賀の食文化研究会・中平真由(自)

◇ 次回は「近江牛のじゅんじゅん」。3月5日(火)に掲載予定です。

# よもぎ団子



## ■■■ 材料と作り方 ■■■

【材料】(30~40個分) よもぎ300g、重曹小さじ1、上新粉100g、白玉粉100g、温水150mlくらい、小豆あん適量、きな粉と砂糖適量

### 【作り方】

- ①摘み取ったよもぎを洗い、ごみを取る=写真右。
- ②沸騰させたお湯に重曹を入れ、よもぎを1~2分茹でる。
- ③冷水にとって色どめし、水気を絞る。
- ④細かく刻んでペースト状にする=写真下。



- ⑤ボールに上新粉、白玉粉、④のよもぎペースト100gを入れ、よく混ぜる(残ったペーストは冷凍できる)。
- ⑥温水を少しずつ加えてこねる。ペーストの水分によって温水量を加減する。
- ⑦耳たぶくらいの固さになって手につかなくなったら、一口大に丸める。
- ⑧たっぷりのお湯を沸騰させ、団子を茹でる。団子が浮きあがってからさらに1~2分茹でて冷水にとる。
- ⑨水気をきって皿に盛り、お好みで小豆あん、きな粉と砂糖を混ぜたものを添える。  
※上新粉と白玉粉は合計で200gにする。どちらか片方でもよい。白玉粉の割合が多いとモチモチ感が強くなる。



23

# 邪気払う香り 春を告げる

よもぎはキク科の多年草で、地下茎を伸ばして生育し、繁殖力が強く野原や道端に自生しています。餅に入れて食べるので、もちぐさともいいます。伊賀地方など、よもぎという地域もありです。

早春に新芽を摘んで食用にするのですが、よもぎの特徴は独特の香りと葉の裏側に細かな白い綿毛が密生していることで、これによってよく似た草と見分けられます。茹でてあく抜きをし

てから、あえ物や団子、餅、餅吹き、地上には桃の花が咲いているという春の景色をよもぎは食卓に届けています。よもぎなど草の香りは邪気を払うと信じられていて、3月3日の桃の節句にはよもぎを使った菱餅や草餅、団子を食べるようになります。菱餅は緑・白・桃色の三段重ねになって

いるものが多く、その色は雪の下の大地から新芽が芽吹き、地上には桃の花が咲いているという春の景色をよもぎは食卓に届けています。よもぎは食用だけでなく、

色を表しています。緑色の部分はもとほは母子草で作っていました。今はほとんどよもぎを使っています。母子草とは春の七草の一つで、よもぎをペースト状にして餅に入れて「母と子をつく」のは縁起が悪いので、手に入れやすいよもぎに変わりました。よもぎは食卓に届けています。よもぎは食卓に届けています。よもぎは食卓に届けています。

く、薬草としても利用されてきました。お灸に使うもぐさは乾燥したよもぎの葉を臼で挽いてお灸のたきかきをする際に使われます。よもぎ粉や乾燥よもぎが市販されていますが、摘み取ったばかりのよもぎは香りが強く、春が来たことを実感できます。(滋賀の食卓文化研究会・清水まゆみ)

「湖国・滋賀の食卓」は今回で終わります。ご愛読いただき、ありがとうございました。

# 滋賀短大付高 女子硬式野球部

# 初の全国「1勝目標」

今年4月に発足した滋賀短大付属高校の女子硬式野球部が、7、8月に兵庫県で開催される全国高等学校女子硬式野球選手権大会に初めて出場する。26日夕、選手や監督らが県公館を訪れ、大杉住子副知事に活躍を誓った。(片山さゆみ)



全国大会に向け意気込み女子硬式野球部の部員ら「県公館で

## 4月に発足 全員1年生 副知事に活躍誓う

高校の女子硬式野球部として、北大津とともに県内で初めて創設された。13人の部員は全員1年生だが、スポーツ少年団やクラブチームでプレーしてきた経験者ぞろい。校内には専用グラウンドがないため、週3回は栗東市にある大津北リトルシニアチームのグラウンドを借りて練習し、他の日は校内でトレーニングや個人練習に励んでいる。休日は練習試合で、実践経験を重ねてきた。

大会は7月20日から始まり、全国から62チームが参加する。決勝は8月3日、阪神甲子園球場で行われる。滋賀短大付属は初日の第4試合に登場し、春の選抜大会で準優勝した強豪・東海大付属静岡翔洋と対戦する。

川上愛未主将(16)は「1年目は公式戦1勝が目標。緊張するが、笑顔と感謝の気持ちを忘れず全力でプレーしたい」と意気込んだ。佐藤彰哉監督(28)は「厳しい戦いが予想されるが、やるからには勝利を目指して全力を尽くして」と力を込めた。大杉副知事は「皆さんの頑張りが、野球をやりたいと思っている女性の励みになり、県民の誇りとなる。一緒に女子野球を盛り上げていきましょう」とエールを送った。



7/19<sup>㊦</sup> かるたの聖地の幻想的な夜  
近江神宮夏のライトアップ

↓  
7/21<sup>㊦</sup> 小倉百人一首競技かるた第46回全国高等学校選手権大会に併せて、メイン会場となる近江神宮の楼門をライトアップします。かるたの聖地ならではの百人一首灯りも設置します。

●時間/19時～21時 ●場所/近江神宮楼門  
【問】びわ湖大津観光協会  
☎077-528-2772



詳細はこちら



7/30<sup>㊦</sup> 親子で郷土料理を味わう  
夏休み親子食育教室

～朝ごはん 作って伝える滋賀の味～

滋賀短期大学の先生と学生の指導の下、子どもは滋賀にまつわる郷土料理を調理実習し、保護者は食に関する講話を聴いた後、一緒に試食します。

●時間/10時～13時  
●場所/滋賀短期大学 ●対象/市内在住の小学生とその保護者  
●定員/20組(申込多数の場合は抽選) ※当選者の方のみメールで7月19日(金)までお知らせ。  
●料金/1人500円

■申し込み/7月15日(祝)までに二次元コードかメール(タイトルに「夏休み親子食育教室 参加申し込み」、本文に全参加者氏名(ふりがな)、年齢(学年)、郵便番号、住所、電話番号、食物アレルギーの有無を書いて)で衛生課へ ■otsu1441@city.otsu.lg.jp  
【問】衛生課 ☎077-511-9203



申し込みはこちら

8/3<sup>㊦</sup> 自然の中の特別な思い出  
葛川自然学校～夏編～

仲間づくり、命の学習(申けずり、あまごつかみ、あまごを食べる)、川遊び(雨天時はクラフト体験)など。

●時間/8時30分～16時30分(8時30分にJR堅田駅集合)  
●場所/葛川少年自然の家(葛川坊村町243)  
●対象/市内在住の小学5年生～中学3年生 ●定員/42人 ●料金/1人3,000円

■申し込み/7月2日(火)12時まで(必着)に二次元コードか郵送(保護者氏名、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、参加者氏名(ふりがな)、性別、学校名、学年、生年月日、年齢(8月3日現在)を記入)で同施設へ ※応募用紙等は同施設ホームページからダウンロード可。  
【問】葛川少年自然の家 ☎077-599-2102



申し込みはこちら

6/22<sup>㊦</sup> 風鈴の音色で涼む  
西教寺 風鈴参道通り抜け

↓  
9/16<sup>㊦</sup> 除災招福を祈願した風鈴約3,000個が境内に吊るされ、涼やかな音を奏でます。風鈴の絵付け体験や夏野菜そうめん(8月の金・土・日・祝日限定)の提供が行われます。

●時間/9時～16時30分 ●場所/西教寺  
●料金/大人500円、中学生300円、小学生200円  
※詳しくは西教寺へ。☎077-578-0013

【問】びわ湖大津観光協会 ☎077-528-2772



詳細はこちら



---

## 地域連携年報 第十一号

令和7年3月31日

滋賀短期大学 地域連携教育研究センター

〒520-0803 大津市竜が丘24-4

TEL 077-524-3605 FAX 077-523-5124

---

SUMiRE